

祝辞

春を告げる花々が咲き誇るこの佳き日、卒業証書授与式が挙行されますことを心よりお慶び申し上げます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

また、保護者の皆様、お子様のご卒業誠におめでとうございます。

さて、皆さんは小学校生活でたくさんの「言葉」を学んだと思います。言葉は、私たちが思いを伝え、人と繋がるために欠かせないものです。それは、皆さんの人生を豊かに彩る便利な道具になります。

例えば、言葉は人の心を動かすことができます。友達が重い荷物を一緒に持ってくれたとき、「ありがとう」と感謝を伝えられましたか。仲間が運動会で一生懸命走っている姿に、「頑張れ」と応援できましたか。たった一言で心が温まったり、勇気をもらったりする経験が皆さんにもあったと思います。

反対に、言葉は人を傷つけてしまうこともあります。取り返しのつかない事態を招いてしまわないように、いつも相手の気持ちを考えて優しい言葉を選ぶ、ということを中心に留めておいてください。

そして、皆さんが発する言葉は皆さんの考えや人柄を映し出す鏡です。周りの人に前向きで明るい影響を与えることができるように、言葉の使い方を考えながら、発したり書いたりしてください。

また、今日はひとつの区切りとして、日頃の感謝の気持ちを言葉で伝える絶好の機会です。普段、気恥ずかしくて中々言えない「ありがとう」をご家族やご友人、先生などお世話になった方へぜひ伝えてみてください。

保護者の皆様におかれましては、小さな背中に大きなランドセルを背負い、小学校へ通い始めた子どもたちが成長し、晴れて本日を迎えられ、感激もひとしおのことと存じます。皆様がこれまで見守り、支えてくださったように、これからもお子様たちの成長を温かく見守り続けていただければと思います。

結びに、卒業生の皆さんと、学校に関係するすべての皆様の益々のご多幸を祈念申し上げ、私からのお祝いの言葉といたします。

令和 7 年 3 月 2 4 日
和 光 市 長 柴 崎 光 子

